

記

- 1 競技会 : 2026年全日本ジムカーナ選手権第1戦
- 2 発生日時: 2026年3月8日(日) 15時30分頃~18時頃
- 3 発生場所: 筑波サーキットコース1000
- 4 経過概要:

1) 競技会当日

13:25 P・AE1クラス第2ヒート終了。

13:30 P・AE1クラスの暫定結果No. 15を発表し、当該クラスの上位5台の再車両検査を実施。

15:35 再車両検査において、P・AE1クラスのゼッケン1およびゼッケン16（ダブルエントリー車両）の車両規則違反が確認された。

(1) 違反事項 最低重量

当該車両重量 1430kg（カタログ値）、燃料タンク容量 47L

$1430\text{kg} - 47\text{L} \times 0.74 = 1395\text{kg}$

測定値 1388kg（-7kg）

(2) 違反条項 2026年国内競技車両規則

第3編第2章スピードP車両規定第2条一般改造規定

15:56 対象者が測定結果についての技術判定報告書を確認、署名。

15:57 競技長は競技会審査委員会に対し、該報告書を以って違反判定報告を行った。

16:44 競技会審査委員会による審議の結果、2026年国内競技車両規則第2章スピードP車両規定において、他の車両区分の規定に相当する、最低重量を定めた明確な条文の記載が無いことから、スピードP車両では、規則の範囲内で改造を行い、結果的に車両重量が軽くなることは違反とはならないとの判断により、本判定を却下とした。

16:50 上記審議結果に基づき、P・AE1クラスの正式結果No. 39を発表。

17:10 第3回競技会審査委員会が開催され、該事象が明確に違反と認められる規則（2026年全日本ジムカーナ/ダートトライアル選手権統一規則第2章第2条4）（2））が存在した旨、オーガナイザーから競技会審査委員会へ報告が行われた。

これを受け該競技会審査委員会は、No. 39の取り扱いについて該オーガナイザーの見解を確認した結果、No. 39の訂正は行わず正式結果とすることとした。

17:30 表彰式を実施。

2) 競技会終了後、該競技会の関係者より係る事象の発生についてJAF事務局に連絡が

あり、国内競技規則10-12に基づき事実関係を調査することとなる。

- (1) 3月26日 該審査委員長より、全日本ジムカーナ選手権第1戦の競技会審査委員会報告がJAFに提出される。
- (2) 4月 2日 該競技長より、全日本ジムカーナ選手権第1戦P・AE1クラス再車検に關係する報告書がJAFに提出される。
- (3) 4月 9日 JAFにより、該競技会審査委員会に対する事実確認ヒアリングを実施。
- (4) 4月10日 JAFにより、該オーガナイザーに対する事実確認ヒアリングを実施。
- (5) 4月11日～4月21日
該競技会審査委員会および該オーガナイザーより提出された資料ならびにヒアリング結果に基づき、關係諮問機関等への確認を実施。
- (6) 4月22日 当該事象は明確に規則違反が認められると判断し、国内競技規則10-12に基づき、JAFから該オーガナイザーへ、P・AE1クラスの競技成績結果の訂正を指示。
 - (1) 違反事項 最低重量
 - (2) 違反条項 2026年全日本ジムカーナ/ダートトライアル選手権規定統一規則 第2章第2条4)(2) 最低重量
- (7) 5月 1日 該オーガナイザーの訂正結果に基づき、JAFモータースポーツウェブサイトにて訂正内容を公示。
- (8) 5月16日 全日本ジムカーナ選手権第4戦の公式練習後、全日本ジムカーナ/ダートトライアル選手権審査委員グループリーダー、スピード競技ターマック部会長より当該事象に係る補足説明会を実施。
- (9) 5月17日～5月24日
当該事象に係る対応の妥当性および方向性について当連盟において検討。
- (10) 5月25日 JAFにより、該競技会審査委員会ならびに該オーガナイザーへ是正勧告書簡を通知。

以上